

## 令和2年度 5月 薬事委員会結果報告

### 1. 新規院外採用医薬品(3品目)

No	医薬品名	区分	一般名	製薬会社	規格	薬価	薬効分類	備考
1	レキソタン錠2	先	プロマゼパム	中外	2mg 1錠	¥5.90	精神神経用剤	一般名処方登録
2	ケーサプライ錠600mg	—	塩化カリウム	アルフレッサ	600mg 1錠	¥6.80	徐放性カリウム剤	スローケー錠販売中止
3	アレサガテープ4mg	先	エメダスチン	久光	4mg 1枚	¥67.00	経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤	

後:加算などの算定対象となる後発医薬品(ジェネリック医薬品) 先:後発品が存在する先発医薬品 先:後発品が存在しない先発医薬品(算定にかかるシェア換算の対象外)

### 2. 医薬品情報室より

重要な添付文書改訂について:DSU(医薬品安全対策情報)No.287-288(2020.3-4)

医薬品一般名	アシクロビル(経口剤、注射剤) 625 抗ウイルス剤	
改訂箇所	改定内容	
[11.1重大な副作用] 一部改訂	11.1.3 急性腎障害、尿細管間質性腎炎	

<院外>採用医薬品:ゾビラックス錠、ゾビラックス顆粒

医薬品一般名	バラシクロビル塩酸塩 625 抗ウイルス剤	
改訂箇所	改定内容	
[11.1重大な副作用] 一部改訂	11.1.3 急性腎障害、尿細管間質性腎炎	

採用医薬品:バラシクロビル顆粒「明治」 <院外>採用医薬品:バルトレックス錠

医薬品一般名	アロプリノール 394 痛風治療剤	
改訂箇所	改定内容	
[11.1重大な副作用] 追記	11.1.9 無菌性髄膜炎 項部硬直、発熱、頭痛、悪心・嘔吐又は意識障害等の症状を伴う無菌性髄膜炎があらわれることがある。 なお、本剤投与後数時間で発症した例も報告されている。	

採用医薬品:ザイロリック錠

医薬品一般名	スルピリド 117 精神神経用剤 232 消化性潰瘍用剤	
改訂箇所	改定内容	
[9.1合併症・既往歴等のある患者] 一部改訂	9.1.4 パーキンソン病又はレビー小体型認知症の患者	

採用医薬品:スルピリド錠50mg(TYK) <院外>採用医薬品:ドグマチール錠100mg、ドグマチールカプセル・錠50mg

医薬品一般名	ハロペリドール	117 精神神経用剤
改訂箇所		改定内容
[禁忌]	一部改訂	パーキンソン病又はレビー小体型認知症の患者

採用医薬品:ハロペリドール細粒「ヨシミ」 <院外>採用医薬品:セレネース錠

医薬品一般名	ピモジド	117 精神神経用剤
改訂箇所		改定内容
[禁忌]	一部改訂 追記	うつ病の患者 パーキンソン病又はレビー小体型認知症の患者

<院外>採用医薬品:オーラップ細粒

医薬品一般名	アクラトニウムナパジシル酸塩	123 自律神経剤
改訂箇所		改定内容
[禁忌]	一部改訂	パーキンソン病又はレビー小体型認知症の患者

<院外>採用医薬品:アボビスカプセル

医薬品一般名	バロキサビルマルボキシル	625 抗ウイルス剤
改訂箇所		改定内容
[重大な副作用]	追記	虚血性大腸炎: 虚血性大腸炎があらわれることがあるので、腹痛、下痢、血便等の異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。

<院外>採用医薬品:ゾフルーザ錠

医薬品一般名	ロチゴチン	116 抗パーキンソン剤 119その他の中枢神経系用薬
改訂箇所		改定内容
[重大な副作用]	追記	横紋筋融解症: 筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇を特徴とする横紋筋融解症があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、横紋筋融解症による急性腎障害の発症に注意すること。

<院外>採用医薬品:ニュープロパッチ

### 3. 自主回収(クラスI)について

- ①メトグルコ錠250mg・500mg(ビグアナイド系経口血糖降下剤)大日本住友製薬  
発がん性物質「N-ニトロソジメチルアミン(NDMA)」が、管理指標を超えて検出されたため。